

しんらん同人

11月26日(日) 午後1時

報恩講

浄土真宗にとって、もっとも大切な仏事です。
親鸞聖人のご命日をご縁として私たちを救って
くださる仏さま(阿弥陀如来)、そして聖人をはじめ
先だっていかれた方々のお導きによってこの私が念仏の
み教えに出会い、生きる依りどころをいただいている
ご恩にお礼を申しあげる法要です。
是非おまいりください。

No.577

11・12
月号

浄土真宗本願寺派 誓願寺

〒171-0052 東京都豊島区南長崎1-3-8

【電話】03-3950-7828 【ホームページ】<http://www.seiganji-tokyo.jp/>

われもひかりのうちにあり

誓願寺住職 古賀尚之

大学卒業五十五周年を迎える来年、同窓会の全国大会開催の案内が参りました。(ということは、坊守も卒業五十周年お互いに歳をとったものです。)

親元を離れての寮・下宿生活。テニスに明け暮れた四年間は、私にとって何物にも代えがたい宝物です。多くの親友が出来ました。しかしここ数年、彼らとのお別れも増えてきました。

今ふと考えたとき、お互いの命観や宗教を語り合ったことが少なく、仏教・キリスト教。またその宗派がはっきりしません。

でも、ANさん。HIさん。JIさん。KKさん。KMさん。KOさん。NUさん。またお浄土でお会いしよう、楽しみにしている私が確かにここにいます。

数か月前にお隣の練馬区の「豊島園」跡地に「ハリーポッターのテーマパーク」が出来ました。

まだ入場していませんが、多くのファンが来場されているようです。私も十数年前に購入した「ハリーポッターと賢者の石」を読み返してみました。

ハリーが魔法学校に入学するために、指定された駅から出発する場面です。

駅の「九番と四分の三番線ホーム」から列車に乗るために向かったのですが、九番ホームと十番ホームの間には柵があるだけです。駅員さんに聞いても「そんなホームはない」と相手にもされません。遂方に暮れるハリー、その時ハリーの前に、子供たちを魔法学校に見送るためにやって来た家族が現れます。

そのお母さんはハリーにこう言います。「心配しなくていいのよ。九番と十番の柵に向かってまっすぐ歩けばいいのよ。ぶつかるんじゃないかと怖がりたりしないこと。これが大切よ。」「うーん・・・オーケー」ハリーはその先に魔法の世界があることを信じてその柵に向かって突進します。

柵がグングン近づいて来ます。その瞬間目を閉じたハリーですが・・・おやまだ走っている、目を開けるとそこに「九番と四分の三番ホーム」があり、魔法学校行きの紅色の蒸気機関車が停車してしました・・・

私にもいつかお浄土へのご案内が来ることでしょ。阿弥陀如来並びにご指導いただいた善知識にお任せして、慌てず進みたいものです。

合掌

正定聚の位に

人間は死ぬとは思いますが、欲も深いものですから、出来る事なら、行く時はやはり楽にしたいと思いますので、ポックリ行ける方法があるなら聞かせてもらいたいという気もします。

死ぬ時が来たら行かねばなりません、安心して行かせてもらえるかが問題です。その時になって「さあどこへ行くのか」となると慌てるだろうと思います。

ところが有難いことに、南無阿弥陀仏の教えで正定聚の位にはいらせてもらっているれば、いつでも息が切れてもその時はお浄土です。そのように定められていますから、阿弥陀と同じ悟りの身とさせていただき清らかなお浄土に生まれさせていただくのです。このように安心して生きるのと、どうなるのだろうかと不安な心で生きるのでは大変な違いがあります。

死んだらどうなるのだろうか心配する人は、せめて死ぬ時ぐらい楽に考えるでしょう。ところがお念仏をいただいた人は、そんなことは考えません。行く時が来たらいつでも行ってもよい、苦しんで行こうと笑って行こうと思

切れた時はもうお浄土です。弥陀のお慈悲に今日も生かされているのだから、最後はどうあってもよいと安心していられます。

親鸞聖人は「信心正因・称名報恩」と申されます。

それは、私がお浄土に生まれさせて頂く因は仏が成就くださった信心ですが、そのご恩に報いて有難うございますというのが南無阿弥陀仏の称名だということです。

従ってその信心を頂戴すれば正定聚の位にお摂めとってくだされ、命終ればもろもろの煩惱悪障を転じて悟りの境涯にならせていただくのです。

それも私の力によるものではありません。仏さまの不思議な願力でならせていただくのです。

念仏を称えるたびに、罪を一つ一つ消そうとするのは自分で罪を消して往生しようとするようなものです。もしそうなら我々の一生は煩惱を起こし罪業を作るよりほかないのだから、思うこと全ては迷いであり欲であります。ああしたいこうしたい、それが出来ないと思を立ったり愚痴をこぼしたりします。それが我々の一生です。

煩惱の生活、迷いの日暮しですから、命尽きるまでに常に念仏を怠らずに努めなければ自分の作った罪は消えないでしょう。

だから私の業報には限りがありませんから、病に倒れる、不慮の災難などどんな業を背負っているか分かりませんの

で、お念仏をひと口も称えられないこともあります。もし称えられない時は、自分が作った罪はどうやって消すつもりでしょうか。

罪が消えなければ・念仏を称えていなければではなく、必ず救うというお誓いを信じて頼みにするならば、どんなことがあっても、かりに罪業を作り念仏をしないまま終わっても、お浄土参りさせていただけるのです。

また命終ろうとする時、念仏が称えられるにしてもそれは今まさに仏の悟りを聞かせていただく、その時が近づくに従い、いよいよ深く弥陀を頼み、ご恩に感謝する念仏であります。

念仏によって罪を消そうとするのは自力の計らいであつて、もともと心乱れずして往生したいと祈る人の願いですから、それは他力の信が欠けている証拠です。

私たちが救われるのは仏さまのお力であり、そのはからいでお浄土参りをさせて頂くのです。お念仏をたくさん称えたから、一生懸命信じたからではありません、不思議の願力によってお浄土に参らせて頂くと思ふのが浄土真宗の信心です。仏の本願力が私の上に働いて下さるからこそ、そうですかと信じさせていたたいたのであって、それを親鸞聖人は「他力回向の信心と申されたのです。

親を信ずる。一生懸命心配して下さる親の真心があるから、私達にその心を信じさせているのです。他人にはその

ような真心はありません。真心があるから親とは有難いものだという思いを起こさせます。

私は親を信じた。「ああそうか、それなら誠を尽くしてやろう」という親はありません。向こうから先に真心を込めて下さっているから気づかなかったものの「やはり親だなあ、親でなければ真実では無かったのだ」と思われてきます。だから、親の恩を思うのはこちらからは出来ません。本当に大きな働きをして下さっている親だから、先祖だからです。

それを逆に、自分が信じているからと考えますが、親鸞聖人は「そうではない、私が信ずる身となったのも、念仏申す身とさせて頂いたのも、みな仏の真心が私に働いて下さっているからだ。」とお喜びになりました。

私達もこのお心を味わいながら、日々を振り返って参りましょう。



ご法座等 のご案内



どなたでもご自由に
ご参加いただけます。
参加費は無料です。

11月

11・12
(日)

■午前十時～

定例法座

【上野隆平師（京都府）】

■正午～

医療相談

【佐藤公彦医師】

医療相談終了後に軽食を取り、仏具の
お磨き、本堂の掃除を行います。

11・19
(日)

■午前十時～

なかよしクラブ

（乳幼児から小学生までとその保護者）

11・26
(日)

■午後一時～

報恩講法要・祥月命日合同法要

【山本摂叡師（大阪府）】

12月

12・10
(日)

■午前十時～

定例法座【森祐真師（大阪府）】

■正午～

医療相談【佐藤公彦医師】

12・17
(日)

■午前十時～

なかよしクラブ

（乳幼児から小学生までとその保護者）

12・31
(日)

■午後十一時四十分～

除夜会

1月

1・1
(月)

■午後一時～

元旦会

年越しの鐘を撞きます。
ご自由にご参加ください。

12月の第4日曜日の
法座はありません。
ご注意ください。

編集後記



・十月下旬に坊守が、ベトナムに住む孫たちに会いに行きました。八年振りの海外旅行です。お寺は住職・副住職の二人で諸々やと耐え忍ぶことが出来ました。坊守の存在感・有難さを再確認させられた貴重な出来事でした。

・ベトナムの観光地の写真が届きました。孫悟空が仏様の掌の上から逃れられない話を思い出しました。



〔坊守、長女家族の住むベトナムへ〕

・秋の訪れを感じることも少ないまま、はやくも師走を迎えようとしています。今年はまだ干し柿作りやカレンダーの準備が出来ていません。少し焦っています。